



2013年9月3日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

2013年9月2日のブラジル株式市場の値上がりについて

市況概況:

2013年9月2日のブラジル株式市場は大幅に上昇し、代表的なボブスパ指数は前日比3.65%高の51,835.15で引けました。高値は51,976.44で安値が50,012.33、出来高は約58億レアル(約25億米ドル)でした。ボブスパ指数構成73銘柄のうち、値上がりが66銘柄で、値下がり6銘柄、変わらずが1銘柄でした。

ブラジルの株式市場は、8月の製造業購買担当者指数(PMI)が中国で51.0(中国国家統計局と中国物流購買連合局発表)、ユーロ圏でも51.4(改定値)といずれも市場予想や前月の数値を上回ったことで、ブラジルからの資源輸出が回復するとの期待を背景に資源株や鉄鋼株などが買われました。さらに、ブラジルの国内景気も回復するとの観測を背景に住宅関連や小売関連などの内需関連株も幅広く買われ、ボブスパ指数は51,000ポイント台の後半まで値を上げています。

海外の景気回復に加えて、ブラジル国内でも8月の製造業購買担当者指数(PMI)が49.4と前月の48.5を上回り、先週ブラジル地理統計院(IBGE)が発表した2013年第2四半期のGDP成長率も、前期比+1.5%と市場予想の同+0.9%や前期の同+0.6%を上回るなどブラジル国内の景気回復を示唆する内容の経済指標の発表が続いています。この結果、ブラジル中央銀行が定期的実施する経済アナリストを対象とした経済成長率の見通しも2013年は前週時の前年比+2.20%から同+2.32%に上方修正されました。

一方、懸念のインフレ率は、食品価格の下落や公共料金の引き上げ撤回などが寄与し、やや沈静化の兆しを見せていましたが、ブラジル国内外の景気回復が明確となると再び上昇に転じる危険もあります。

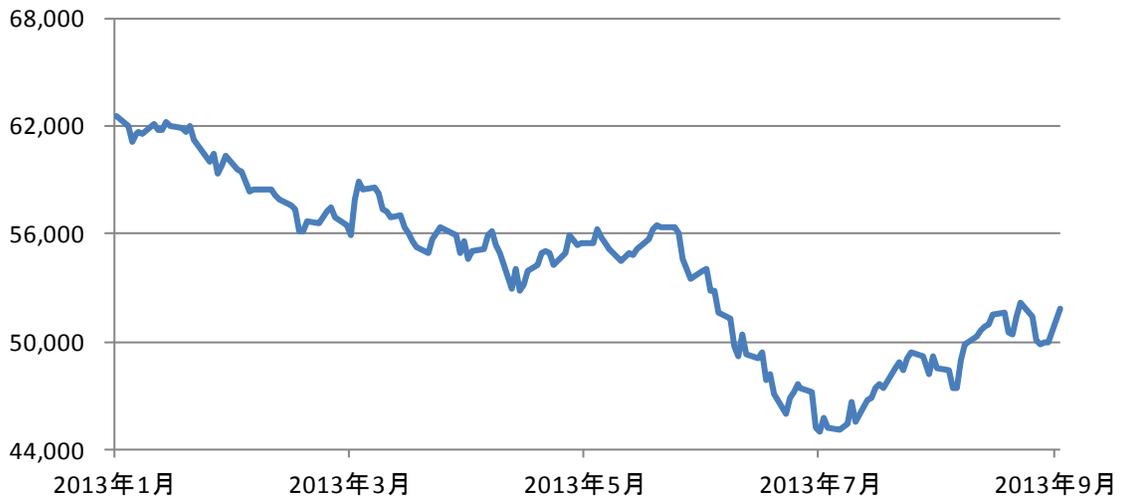
今後は、ブラジルの製造業購買担当者指数(PMI)が節目の50.0を越えてくるタイミングや、インフレ上昇の要因となっているレアル安がいつ反転するか注目が集まってくると予想されます。

本資料は、BNPパリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解および「BNPパリバ・ブラジル・ファンド」に関する情報を提供することを目的として、上記日付に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。



また、為替市場での通貨レアルは、対米ドルで 2.37 レアル台と僅かに反発、対円では日本で消費税が引き上げられ「アベノミクス」が進展し、円安に向かうとの観測から 41.8 円台まで円が売られています。

＜ブラジルボベスパ指数の推移（2013年1月4日～2013年9月2日）＞



（円） ＜為替の推移（2013年1月4日～2013年9月2日）＞



（出所：Bloomberg のデータより当社作成）

本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記の時点に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。